≪ アレルギー症状への対応の手順 ≫

アレルギー症状が出た　　原因物質を食べた

発見者

① 教室内にある（緊急対応カード（SOS カード）を持たせ直ちに隣教室の教員、保健室職員室に知らせる。
② 発生時刻を確認する
③ 子供から目を離さない・一人にしない

緊急性の高い症状があるか

ある

多くの教員で仕事を分担する

〇エピペン・AED の準備
〇経過を記録する
〇保護者への連絡
　児童の症状・エピペンの接種・救急車の要請
　緊急連絡先の確認
〇救急車の要請
〇教室内残留児童の管理

エピペン使用時
〇管理職に確認し、接種する。
〇保護者への連絡
〇接種時間の記録
〇救急車での搬送

ない

〇保護者への連絡
〇内服薬を飲む
〇記録
〇症状の観察

緊急性の高い症状とは
【全身症状】ぐったりしている・青白い
　意識がもうろうとしている・
　尿や便をもらす
【呼吸器症状】
　息がしにくい・ゼイゼイしている
　胸が締め付けられる
【消化器症状】
　おう吐している・おなかを痛がる

□ 食物アレルギー以外のアレルギー児童について

・児童のアレルギーの程度に応じて、アレルギー管理指導表を活用し、管理を行う。
・遠足や生活科見学などの際に活用し、アレルギー症状発症の予防に努める。
・水泳指導・宿泊行事の際には、担任、保護者に相談しながら対応していく。